

年 月 日

五所川原地区消防事務組合
消防署長

殿

申告者 住 所
職業(職) 電話
氏 名

不 動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	年 月 日	物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者	
	り災場所				
2	購入年月	建築又は購入金額			
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明			
	年 月	3.3 m ² (1坪) あたりの金額(円)	総金額(円)		
3	取得後の経過				
	修繕・改築	年 月	修繕・改築の状況	面積	修繕・改築に要した金額(円)
		年 月		m ²	
	増築	年 月	増築の概要	面積	増築に要した金額(円)
		年 月		m ²	
	4	り災前の建物詳細			
建物の用途		屋根	外壁	階数	延べ面積 (m ²)
	居住世帯数	世帯	居住人員	人	
5	建物・収容物以外のり災状況				
	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数	
		焼損・水損・その他			
		焼損・水損・その他			
6	火災保険の契約				
	契約会社名	契約年月	保険金額(万円)		

(裏)

不動産り災申告書記載要領

(1の欄)

物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

- 購入年月、建築又は購入金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものなのか、推定によるもののかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた3.3㎡(1坪)あたりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

(3の欄)

取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕・改築・増築し、いくら(金額)かかったかを記入してください。

例

	年 月	改修等した箇所	金 額
改 築	平成○年○月	1階居間部分30㎡	1,532,000円
増 築	昭和○年○月	2階住宅部分	2,328,000円

(4の欄)

- り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

例

用 途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積
住 宅	日本瓦	モルタル	2階建て	60㎡
店舗・住宅	亜鉛鉄板	セメント板	3階建て	150㎡

- 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内全てに居住する世帯と人員を記入してください。

(5の欄)

- 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- り災別の欄は、あてはまるものに○で囲んでください。
 - 焼損：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど。
 - 水損：消火するため濡れたもの、壊れたもの及び汚れたものなど。
 - その他：煙で汚れたもの、運び出す時に壊れたもの及び避難する時に壊れたものなど。

(6の欄)

- 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

- 備 考
- この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
 - この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
 - この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
 - この申告書でわからないことは、下記までご連絡ください。

消防署 電話番号 (内線 番)
調査担当者